

報道関係各位

2016年3月17日

鉄道フォトライター 女子鉄アナウンサー

はとバス × 栗原景 × 久野知美

## 東京遺産 鉄道遺構を訪ねる、バスツアー発表

株式会社はとバス(東京都大田区/代表取締役社長 中村 靖)は、本日、東洋経済オンライン「鉄道最前線」の協力のもと、鉄道フォトライターの栗原景さん、「鉄道ファン人気ナンバーワン女子鉄アナウンサー」の久野知美さんと一緒に鉄道廃線跡地などを訪ねる「鉄道遺構」バスツアーを発表します。

当ツアーは、これまで観光資産にならなかった、東京23区内にある鉄道の廃線跡や橋梁をめぐるツアーです。近年の「街歩き」ブーム、「工場萌え」ブーム、富岡製糸場や軍艦島など産業革命遺産への関心が高まっているなか、新たな観光資産として都内の鉄道遺構に着目しました。鉄道ファンのみならず、今後の需要が広く見込まれると考えます。

今回、鉄道ファンなどに大きな影響を与える著名人をツアーの案内役に起用し、ツアーのプログラムについては鉄道フォトライターの栗原景さんと共同で開発しました。このツアーを第一弾とし、今後シリーズ化を行う予定です。

はとバスホームページにて本日から告知を行い、3月18日(金)9:30より受付を開始します。

### 【ツアーの案内人】

#### 栗原 景(くりはら かげり)さん

1971年、東京生まれ。旅と鉄道、韓国を主なテーマとするフォトライター。小学生の頃から各地の鉄道を一人で乗り歩き、国鉄時代を直接知る最後の世代。学生時代から鉄道関連書籍の編集に携わり、出版社勤務を経て2001年からフリー。主な著書に『寝台列車の図鑑』(KADOKAWA)、『新幹線の車窓から東海道新幹線編』(いずれもメディアファクトリー)、東洋経済オンライン「鉄道最前線」に、鉄道や旅をテーマとした記事を執筆中。



#### 久野 知美(くの ともみ)さん

大阪府寝屋川市生まれ。立命館大学卒業(2003年度準ミス立命館大学)

大学卒業と同時に、地元・大阪でリポーターとして活動。2008年に上京し、株式会社ホリプロアナウンス室所属。鉄道情報バラエティ「情報特急255」や「鉄音アワーTV」にレギュラー出演。そのほか、テレビ朝日「スーパーJチャンネル」などでリポーターを担当。各鉄道関連の番組や特集、イベントへの出演や海外鉄道旅、鉄道旅行などの執筆も行っている。



※リリースは国土交通記者会、都庁記者クラブへ同時配布しております。

本件に関する報道関係の方からのお問合せは、下記までお願いいたします。

■ 株式会社はとバス 広報室 (大田区平和島5-4-1) TEL. (03)3761-8128

担当: 田中 古井戸 相田

お客さまからのお問い合わせ先は下記の通りです。

■ はとバス予約センター TEL. (03)3761-1100 (年中無休 8:00~20:00)

別紙

【ツアー詳細】



## 東京の歴史を訪ねる 鉄道遺構の旅

～鉄道フォトライター栗原景さんと女子鉄アナウンサー久野知美さんと巡る～

設定日：4月9日、5月21日、6月4日、14日（募集人員は各回40名）

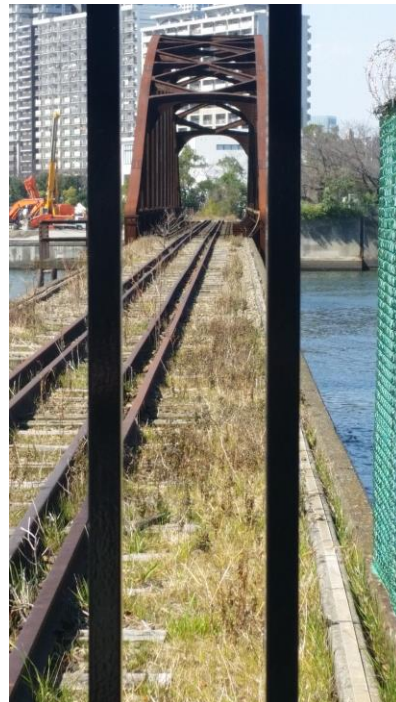
旅行代金：おとな お一人様 14,500円（こども 1,000円引き）

行程：

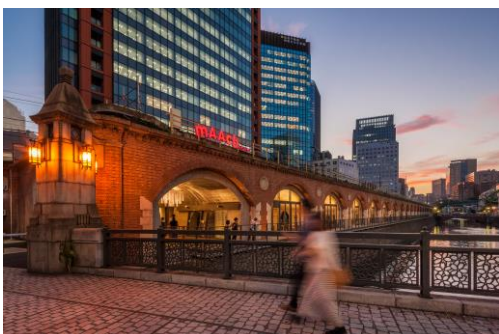
東京駅丸の内南口(9:20 発)＝**築地場外線 銀座 最後の踏切**(銀座のはずれにぽつんと残る不思議な踏切警報機)＝**旧新橋停車場・鉄道歴史展示室**(復元された日本の鉄道発祥の地を見学)・・・**旧新橋停車場・BEER DINING LION汐留店**(鉄道発祥の地で、列車食堂をイメージしたハンバーグの昼食。うれしいビール1杯付！)＝**亀戸緑道公園・堅川橋梁**(都電跡の遊歩道と、昭和初期のレンガ橋脚が残る鉄道を散策)＝**小名木川駅交差点(車窓)**＝**越中島支線**(現在もレールを運ぶ貨物列車が1日数本だけ運行される貨物線。運が良ければ貨物列車を見られるかも！？)＝**東京都港湾局専用線**(平成の初期に廃止された貨物線の遺構がビルの谷間にひっそりと残る)＝**晴海橋梁**(都心最大の鉄道遺構、晴海の運河に赤さびて残る鉄橋を見学)＝**マーチエキュート神田万世橋**(戦前、上野などと並ぶターミナル駅であった万世橋駅跡の遺構を見学し、商業施設でショッピング)＝**東京駅丸の内駅舎見学**(東京の顔とも言える、歴史と風格のある赤レンガ駅舎を、美しい夕暮れ時の見学)・見学後、解散(18:30頃)



越中島支線 (イメージ)



晴海橋梁(イメージ)



マーチエキュート神田万世橋(イメージ)